

# 審議会等の会議結果報告

## 【審議会公開用会議録】

1 会議名	平成28年度第2回松阪市安全・安心施策推進協議会
2 開催日時	平成29年3月16日（木）午後6時30分～午後8時5分
3 開催場所	松阪市本町2176番地 松阪市産業振興センター 2階人材育成講座室
4 出席者氏名	（委員）山川良樹、青木真澄、三國悦夫、田上勉史、松本芳昭、更岡富雄、東浦良明、梶家泰文、谷口隆、大戸房子、加藤美和、鈴木逸郎、岡田真由美、高柳伴子、小山利郎、星野郁子、山口美帆子、中村利明、松田まゆみ、谷口雅美 （事務局）吉田敏昭部長、辻義哉課長、大山久男補佐、高口直記係長、堀真由子係員
5 公開及び非公開	公開
6 傍聴者数	0
7 担当	松阪市 環境生活部 地域安全対策課 セーフコミュニティ推進係 堀 TEL：0598-53-4074 FAX：0598-22-1055 e-mail：anz.div@city.matsusaka.mie.jp

### 事項

#### 会長あいさつ

- 1 各分野における平成28年度事業等の状況、行動計画の進捗状況などについて
- 2 平成29年度の予定
- 3 その他

### 議事録

別紙のとおり

## 平成 28 年度 第 2 回 松阪市安全・安心施策推進協議会《会議録》

- 日 時 : 平成 29 年 3 月 16 日 (木) 18:30 ~ 20:05
- 場 所 : 松阪市産業振興センター 2 階人材育成講座室
- 出席委員 : 山川良樹、青木真澄、三國悦夫、田上勉史、松本芳昭、更岡富雄、東浦良明、梶家泰文、谷口隆、大戸房子、加藤美和、鈴木逸郎、岡田真由美、高柳伴子、小山西利郎、星野郁子、山口美帆子、中村利明、松田まゆみ、谷口雅美
- オブザーバー : 山路克文
- 欠席委員 : 乾英、杉本幸子、野呂純一
- 事務局 : 吉田敏昭 (環境生活部長)、辻義哉 (地域安全対策課長)、大山久男 (地域安全対策課長補佐)、高口直記 (セーフコミュニティ推進係長)、堀真由子 (セーフコミュニティ推進係員)

○議長：会長

### 会長あいさつ

- 会長
  - ・ 第 2 回出席の御礼。
  - ・ 今年度から 3 年計画で具体的に進めていく計画の初年度ですが、どれくらいまで進んだのかということを確認していただきたい。

### 1. 各分野における平成 28 年度事業等の状況、行動計画の進捗状況などについて

- 事務局
  - ・ 配布資料の確認。
  - ・ 欠席委員 (2 名) の報告。
- 事務局
  - ・ 【別紙①】に基づき説明。
- 会長
  - 6 つの分野に渡る現在の状況の報告をしてもらいましたが、ご質問、ご意見などあれば。
- 委員
  - ④高齢者の安全対策で、徘徊 SOS ネットワークまつさかで、行方不明者の配信ですが、何人の人に配信しているのですか。

○ 事務局

事業所、登録者については、800人から1,000人程の方に配信している。松阪市内だけでなく、多気町、大台町、明和町の方にもエリアを拡大して配信を行っている。今後まだまだ増やしていきたいと高齢者支援課は言っております。

○ 会長

では、交通の方から分野別に見ていきたいと思えます。まず、①交通安全対策で、新しい取り組みとして、高齢者免許返納促進などありますがいかがでしょうか。委員どうでしょうか。

○ 委員

免許返納につきまして、自治会や老人会の方、多くの方に啓発し興味を持っていただいている。

○ 委員

松阪市交通安全サポート事業所の登録数について、30年中に60事業所を目指しているということで、27、28年16事業所と数字が一緒なのですが、今後、どういった活動によって増やしていくと考えてみえますか。

○ 事務局

現在、企業の方を一軒一軒回っております。以前は団体さんの集いのときに話したりしていたのですが応募がありませんでしたので、各企業を回っております。現在、5社程登録の申し込みがきておりますので、29年度中に数を増やしていきたいと考えています。

○ 会長

では、次の防犯対策はどうですか。委員どうですか。

○ 委員

子どもを守る家の関係ですが、目標値としては4,000軒ということで、あと1,000軒増やさないとはいけません。増やすだけでなく見直しにも取り組んでおります。おじいちゃんの代やお父さんの代につけて、子どもの代で知らないとかがある。沖川の見守り隊の隊長さんですが、策を講じて活動していただいている。

○ 会長

例えば、年度初めに例えばPTAなど団体を通じて、案内を配布してもらうとなおいいかなという気がするのをお願いします。

○ オブザーバー

知能犯が増えている。ほとんど松阪市内ですが、傾向や特徴等ありますか。

○ 委員

知能犯の件数が増えているのは、同じ人の余罪が50件くらいあり増えているもの。確か、クレジットカードかポイントカードで欺いて買い物とかしていたもの。

○ 会長

先日、夕刊三重に防犯カメラの設置について出ていましたが、その辺りはどうですか。

○ 事務局

防犯カメラの件ですけれども、以前から市の公共施設に関して防犯カメラがほとんど設置されていない状況の中で、29年度から見直しをしていったらどうかということで市長からの指示もある中で、現在宝塚古墳公園と中部台運動公園、中川駅の市の公衆トイレに主にカメラを検討している。他にも、予算書では出てこない、施設の整備として計画しているところもあるかも分かりませんが。過去に事件事故のあったところをテスト的に付けていくという方向になるかと思います。

○ 会長

次に、自殺対策についてはどうでしょうか。

○ オブザーバー

緑の棒グラフで43人から29人に減ったとありますが、減った理由はありますか。というのは、増えるのも心配ですが、減ったということの背景には何か要因、成果として上がっているのかとか意味があると思うのですが。

○ 事務局

自殺に関しては、それぞれ毎月どういう原因で亡くなられたとか、場所とかデータを分析していますが、そのときの社会情勢とか状況によって変動が大きいです。過去にも26人とかあったり、上がったたり下がったり、そのときそのときの生活が苦しいと増えたりとかいろいろあります。主な要因としては、健康に関してというのが非常に多い。今データがなくて申し訳ないです。

○ オブザーバー

何回か前の会議のときに、事務局からかなり詳しいデータを提供していただきました。何曜日の何時頃に一番多いとか。これがあれば詳しい推測が可能かと思うのですが。

○ 事務局

また改めまして、データは提出させていただくようにさせていただきますのでご理解の程よろしく願いいたします。

○ 会長

多い多いと言われている交通事故死亡事故死者数よりも3倍も多い、手がつけにくいところではありますがお願いしたいと思います。

○ オブザーバー

未遂についてはどうでしょうか。

○ 委員

未遂は、事案の把握はしているのですが、統計上はとっていないです。

○ 会長

それでは、④高齢者の安全対策に移ります。

○ 委員

先程質問させていただいたことに関連するのですが、SOSの配信のメールの登録は具体的にどうしたらいいのか。また、認知症サポーター養成講座等を受けていただいた方にネットワークに登録していただくよう働きかけ等しているのかをお伺いしたいのですが。

○ 事務局

お配りさせていただいている冊子の中で「徘徊SOSネットワークまつさか」のチラシが入っています。携帯やスマホを持っていただいている方に、登録をしたら何月何日にこういう人が行方不明になっています、この近くで見かけた場合には声をかけてくださいというようなものでして、認知症サポーターの方には示させていただいてはいますが、登録の仕方については高齢者の方は分かりにくいということもございまして、高齢者の登録となるとそこまで広まっていないのが現状で、3,000人までが登録が可能ということですが、およそ1,000人とどまっているという状況です。

○ 委員

徘徊SOSネットワークまつさかに登録するのに、自分ではできなかったのでドコモでしていただきました。

○ 事務局

民生委員さんや高齢者見守り隊のみなさんには、登録していただきたいと思っている。

○ 鈴木会長

それでは、子どもの安全対策についてお願いします。

○ オブザーバー

円グラフの見方なのですが、27年は48件で26年は86件です。件数が少ないというのは、たまたまなのか、相談にきた人はどうなのか。見方を教えてほしい。

○ 事務局

あくまで相談に来た人の件数で、相談件数が減っていると聞いている。では虐待が減ったのかということは、そこから読み取れないのですが、どうしても潜在的な部分については拾えない。あくまで単年度の相談件数と伺っています。

○ オブザーバー

相談件数はこれだけあるが、実数はこれだけというようなデータのほうが信ぴょう性があるのではないかと。

○ 事務局

その辺は担当課とも協議をさせていただきますが、高齢者の方とも関連してきますので、通報件数の内どうだったかということについて、どこまで把握できているのかということも含めて協議させていただきたいと思います。

○ 会長

相談の数と実際の数と数字に出てきたらまた示してほしい。第四地区に住んでいますが、子どもの安全見守り隊というのが3年程前にできまして60数名で活動しているのですが、福祉部会と相談段階なのですが、来年度まちづくり協議会総会で議論していこうとしているのですが、子どもの見守り隊と高齢者の見守り隊をひっくるめて、全体として見守り隊としたら、数も増えるし、犬の散歩にジャケットを着て地域をうろうろしたら防犯にもなるし、全体で取り組んだらどうかという話が出ている。そういう話はみなさんのところではありますか。前にも話したけれど、大阪の千里8,500人程の住民協議会ですが、500人程の見守り隊員がいるのを2年前に聞いた。いっぺんに空き巣が減った。代わりに周辺に空き巣が増えた。そのようにすれば確実に空き巣は減るだろうし、まちづくりにはいいのではないかなと、来年度まちづくり協議会ですたいと思っています。

○ オブザーバー

厚生労働省が、今年の2月7日に「我が事、丸ごと」地域共生社会実現の部ということで、高齢者は高齢者、児童は児童という分類をやめて、全ての分野を地域包括ケアという中でというもの。今言っていたこと、国では言っていますから、分野を超えた仕組みづくりというものを29、30、31年度で一斉に出てくると思う。先取りしていただくといいと思います。

○ 会長

子どものことに関わって、鎌田中学校、港小学校、第四小学校で地域と共にある学校づくりというものを進めています。6年目なのですが、コミュニティスクールと呼んでいるのですが、コミュニティゾーンを学校の中に作るということで、地域と一体となった学校づくりを目指していきます。松阪市では、飯高の小・中でコミュニティスクールを始めた。人がいなくなっているという大きな課題があるのですが、地域をどう維持していくか、子どもたちと地域と一緒に考えていくという取り組みを進めている。文科省では、コミュニティスクールを来年度から努力義務化することが決まりまして、1年前は2,806校だったのですが、3,000校になっていこう。地域と学校が一体となって進めていくことが、子どもたちにとっても地域にとっても良いことだと思う。高齢化も進むから、子ども、老人含めて全てが安全・安心に暮らせるまちづくりというものを進めていく。それでは最後になりますが、災害対策についてお願いします。

○ オブザーバー

今回の始めのころに、どこかの議員さんが防災士という資格について質問が出たのですが、全国で13万人程の資格者が出たのですが、とるだけで活用の方法を考えていないということをおっしゃられた。かなり災害対策には有効な資格らしくて、松阪市では何人の方が防災士の資格を持っているのか把握していますか。

○ 事務局

職員の中に防災士の資格をとっている人がいるのは把握しているのですが、人数は把握しておりません。また確認しておきます。

○ 会長

市役所の職員さんが、第四小学校、港小学校、鎌田中学校の防災担当の先生を集めて、これからの防災訓練をどうするのかをお話いただいて、すごく良い刺激になった。来年度からこういうことをしようと3校で相談して進めようとしている。学校から子どもに話してほしい、職員の研修に来てほしいなど応えてくれる。こちら側から防災士を活用する、話を聞く場を作るということも必要だと思うので、両方からより防災意識を高める動きをとってもらえればいいかと思います。2年前に朝見さんと第四地区と仙台の世界防災会議でレポート発表したのですが、その時に縁があった仙台の人が、避難所運営、訓練はたくさんしておかないといけないし、避難所でリーダーによって全く違ったという。きちんとしたリーダーがいる避難所はすごくスムーズにいったし、いないところは大混乱だったと。その中でも物が盗まれるとか避難所の中で随分盗難が起こった。その辺りの研修等も進めていってほしいなと思う。

○ 委員

今年度から絆ネットワークというのを始めてもらっていると思います。この中で、振り込め詐欺の予防等でいろんな情報を発信してもらっていると思うのですがそれとは関連するのでしょうか。

○ 委員

絆ネットワークというのは、警察本部の生活安全企画課からメールで特殊詐欺等の防犯情報を配信させていただいており、事業所を増やしていこうと毎年働きかけをしております。地域の防犯関係の話とは密接に結び付くのですが、まだまだ登録者数は少ない状況です。

○ 会長

全体のことで他になければ、事項書の29年度の予定について事務局からお願いします。

## 2. 平成29年度の予定

○ 事務局

29年度の予定でございますけれども、28年度は2回の会議を開催させていただきましたが、29年度に関しては現段階では3回の会議を開催させていただきたいと思っております。概ね、6月頃、10月頃、2月頃に開催させていただきたいという風に思います。内容でございますが、前半は、進捗状況の確認になってきますが、行動計画が28、29、30年度の3ヶ年計画となっておりますので、30年度は内容更新のチェックが出てまいりますので、27年度に実施させていただいたアンケート調査を30年度にさせていただきたいと思っておりますので、29年度にアンケート調査の内容を以前のものをベースに手直しし、30年度早々にアンケート調査をして、そちらの内容を反映させていきたいなと思っております。前回調査が7月に調査をさせていただきまして、最終的に数字が固まってくるのが10月末でしたので、年度内にまとめるには若干ご迷惑をおかけした部分がございますので、2回目になりますので早めに調査をするために29年度に内容確認をさせていただきたいなと思っております。繰り返しますが、29年度は3回の会議を開催させていただきます予定をしておりますのでよろしくお願いいたします。

○ 会長

一つ聞くのをお忘れていたのですが、来年度にも関連するので、市の連携というか、それぞれの分野がばらばらでしていたらだめなのでまとめてというのがこの協議会の意義の一つだと思うのですが、その辺り市の様子はどうでしょうか。

○ 事務局

当然それぞれのポジションがございますので、この組織の庁内バージョンという中で、課長級のメンバーを揃えて、情報共有であったり、連携ができるところは連携をしていくという中で、一步一步ですが、高齢者と交通が連携するとか、来年度は防災を含めて防犯、交通と3つで連携していく。連携できるところはそれぞれの課長級が寄りまして、いろいろな協議や検討をさせていただいている。来年度もそのような方向でいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○ 会長

もう一つ、具体的に実施する上で、まちづくり協議会にモデル的なものを、このまちづくりでやってくれないかという働きかけをしていくのもいいのではないかなと思う。一番最初に豊岡市に視察に行ったときに、それぞれテーマをこのまちづくりでやってもらうなどしていたので参考にしてもらってもいいのではないかなと思うので、また検討しておいてください。その他、みなさん何かありましたらお願いします。

○ 委員

「高齢者の安心ガイド」がよくできておりますので、私は民生委員で中央地区をまとめさせてもらっているのですが、新しく民生委員になられた方に、訪問する時の声かけに使



っていただくようにみなさんにお伝えしていこうと思っております。みなさんに配布して  
いただいておりますか。

○ 事務局

配布させていただいております。

○ オブザーバー

今のことと関連するのですが、社会福祉協議会の方いらっしゃいますが、地域計画の資  
料をたくさん作っていると思います。こういう時に社協の資料も加えて、社会福祉協議会  
の活動をもっと知ってもらった方がいいと思います。社協はいろんなことをしてもらっ  
ているはずなので、それをやはり市にも共有した方がいいと思います。

○ 委員

実際に地域や学校なんかでも配布させていただいているものもありますので、また準備  
させていただきたいと思います。

○ オブザーバー

以前聞いたことなのですが、まち協よりも社協の方が強い地域があったり、社協よりも  
まち協の方が強い地域がある。それぞれ地域によって特徴がある。

○ 会長

事業を進めていく上で、良いと思ったことはどんどんやってもらったらいいと思うので、  
よろしくをお願いします。

○ 副会長

確かに、まち協の会合でもいつも社協さんにきてもらっているの、いろいろ活動して  
もらっているのにもったいないと思う。

○ 会長

今日も県の方で発表がありましたね。私は行けなかったが、そういったものに行っても  
らう人を増やすのもいいのではないかと思います。それでは、事務局の方よろしくお願  
いいたします。

○ 事務局

いろいろご意見いただいてありがとうございました。また、聞いていただいたことに関  
しまして、確認の上、ご報告させていただきたいと思いますのでよろしくお願  
いいたしま  
す。

○ 会長

それでは 29 年度も 3 回の会議を予定しておりますので、引き続きよろしくお願  
いいた  
します。